

業 務 等 質 問 書

提出日：令和8年 1月 23日

発注機関名	長野県林務部 森林づくり推進課	公 告 日	令和8年1月15日
業 務 名 業務箇所名	令和7年度ツキノワグマゾーニング管理導入推進業務 長野県内一円		
質 問 内 容	<p>【ゾーニングマップの作成】</p> <p>・マニュアルには小谷村や白馬村など先行事例が記載されていますが、これら既にゾーニングが策定されている地域についても、本業務で改めて全県の統一基準でゾーニング案を作成する必要があるのでしょうか。あるいは、未策定地域のみが対象でしょうか。また、後者の場合であれば、最終的なアウトプットは既存のゾーニングマップと素案のマップが混在したマップになるという認識で良いでしょうか。</p> <p>【研修会の開催方法】</p> <p>・仕様書5(4)に「研修会運営の一切を担う」とありますが、市町村職員や関係機関への「開催通知の発出」や「参加者募集の呼びかけ」は、県（発注者）が行うのでしょうか、それとも受託者が行うのでしょうか。</p> <p>・オンライン配信で使用するWeb会議ツール（Zoom、Microsoft Teams、Webex等）に指定はありますか。また、配信用のホストアカウントは受託者側で用意した契約を使用する想定でしょうか、それとも県のアカウントを使用するのでしょうか。</p> <p>【アンケートの実施方法】</p> <p>・報告書作成にあたり参加者アンケートの結果が必要とされていますが、Webアンケートフォーム（Google Forms、Microsoft Forms等）の使用は可能でしょうか。市町村職員の執務端末からのアクセス制限（セキュリティフィルター等）を考慮し、Word/Excel様式のメール配布・回収とするべきか、推奨される方法をご教示ください。また、ハイブリッド開催の会場参加者に対しては、紙媒体でのアンケート配布・回収が必要でしょうか。それとも、会場でもQRコード等を用いてスマートフォン等からWeb回答していただく形式で問題ありませんか。</p>		

回答日：令和8年 1月 27日

回 答	<p>【ゾーニングマップの作成】</p> <p>・現時点ではゾーニング管理を導入している市町村はまだ限定的であり、市町村ごとに策定の考え方、表現方法が異なる既存マップと、未策定地域の素案マップが混在すると、運用が複雑になるおそれがあるため、本業務においては、全県を対象として統一的な基準によるゾーニング案を作成することとします。</p> <p>【研修会の開催方法】</p> <p>・市町村職員や関係機関への「開催通知の発出」や「参加者募集の呼びかけ」は、県（発注者）が行います。</p> <p>・オンライン配信で使用するWeb会議ツールはTeamsを想定しています。また、配信用のホストアカウントは県（発注者）のアカウントを使用します。</p> <p>【アンケートの実施方法】</p> <p>・参加者アンケートの実施方法については、特に方式を指定するものではありません。Webアンケートフォーム（Google Forms、Microsoft Forms等）の利用、Word/Excel様式によるメール配布・回収、紙媒体での配布・回収など、業務の円滑な実施や回収率の確保を考慮した方法を受託者において選択して差し支えありません。</p>
-----	--